

CENTENARY

2010. 6. 23

第 53 号

兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

文化祭特集

6月18(金)・19(土)の両日、第61回加古西文化祭が行われました。心配された天候も回復した19日の一般公開日には、千名を超える一般入場者があり、盛況の内に無事終了しました。



<吹奏楽部>



<合唱部>



<演劇部>



<書道部>

本校の文化祭は、文化部の発表が中心となっているのは当然のことですが、それに加えて全クラスが、ステージ・外展示・内展示・販売のいずれかの部門に参加する形をとっています。



<美術部>



<外展示 壁画アート>

全国大会に常連となった書道部や美術部の質の高い展示や、統一テーマに沿った各クラス趣向を凝らした展示、若いエネルギーが爆発しそうなステージなど、部門毎に多彩な見どころがあります。



<クラス展示 巨大シャボン玉>

これからも可能な限り一般公開(チケット制)を継続していく予定ですので、また来年以降の西校文化祭には是非一度来てください。



<クラスステージ 3年4組>



<クラスステージ 3年7組>

ちょっと一言 今年度文化祭のテーマは「輝いて、未来に残そう 加古西の光」でした。普段とは全く違う友の姿を見つけ、全く違う自分を示し、個性を確認しあい協力することで生徒諸君は輝きました。しかし、欲を言えばきりがありませんが、次は内容の輝きを期待しています。テレビ番組等のまねではなく、高校生としての学習成果や人・社会との関わり、願いや提案をパフォーマンスにするということを求めたいものです。来年の文化祭に向けて、実行はまだまだでも各人が構想を練る。スタートは早いほうがいいのです。